



Star ☆☆☆

EXPRESS

7月の予定

- 6月26日 1～3級検定・段位試験
 6月28日 7月度授業料引落日
 (7月8日 引き落とし予備日)
 7月3日 七夕そろばんワールド
 7月9日 全大阪大会・全大阪チャレンジャーズステージ申込締め切り
 7月16日 暗算検定申込締め切り
 塾生大会申込締め切り
 A1大会特別練習5時～7時
 7月17日 A1大会
 8月6日 保護者向け合宿説明会
 午前10時30分～午前11時
 8月13日 合宿参加者説明会
 午前10時30分～午前11時
 夏休みは8月15日(月)～8月20日(土)です。ただし、全大阪・チャレンジャーズステージに出場する生徒の皆さんは20日に特別練習を行う予定です。時間は個別に連絡いたします。

☆6月26日検定について☆

- 2・3級…星の郷教室 午前8時
 1級…北大阪会議所 午前11時20分
 段位…北大阪会議所 午前11時10分
 当日は午前7時に教室を開けます。自由に練習してください。1級と段位は会場に直接行ってください。時間に余裕を持って行動してください。会議所までの行き方についての案内は教室にありますので必要な方は申し出てください。1級受験の中学生以上は生徒手帳を持って行ってください。
 ☆9月18日(日)午前9時30分より今年度の塾生珠算競技北大阪地区大会が

枚方市立地域活性化支援センター(「輝きプラザきらら」内)において開催されます。小学4年生以下は3級練習生以上、小学5・6年生は1級練習生以上、中高生は段位練習生なら出場できますので出場を希望する生徒の皆さんは7月16日までに参加料500円を添えて申し出てください。大会はお昼過ぎに終了する予定です。ただし会場の都合で人数制限がかかる場合があります。その際には教室内で予選を行いますのでご了承ください。

☆8月21日の全大阪珠算選手権大会チャレンジャーズ・ステージは珠算・暗算のどちらか一方が五段以下で、かつ1級以上の生徒が対象です。会場は大阪商工会議所、午前9時開始、午後2時終了予定です。出場希望者は7月9日までに申し出てください。参加料は2000円ですが、大阪珠算協会より一人あたり1000円の補助が出ますので1000円です。今年の合宿もこの大会の練習が中心となります。練習すると非常にうまくなる問題内容です。

☆チャレンジャーズステージに出場できない六段以上の生徒は同日に開催される全大阪オープン大会に出場することとなります。参加料は2500円です。

◎7月17日のA1グランプリ大会は、枚方市立地域活性化支援センター(「輝きプラザきらら」内)において午後0時30分開会、午後4時閉会予定です。参加者は現地集合ですので、開会の15分前までに会場にきてください。駐車

場には限りがありますのでご了承ください。枚方市からバスも出ています。観覧席もあります。

出場の申込をした生徒には、6月末から練習問題を渡します。家でもできるように数回分の問題をまとめて渡しますので、少しでも上位に進出できるようにがんばってください。間違い直しに力を入れることで正確性が格段に上がります。

◎合宿に関する保護者向け説明会を8月6日(土)午前10時30分より行いますので、特に初参加者の保護者の皆様には是非ともご出席くださいますようお願いいたします。所要時間は30~40分を予定しております。なお、合宿参加費用の24150円は8月6日までにご納入下さい。

◎鉛筆を1本しか持ってきていない生徒がいます。そんな生徒はたいてい鉛筆と言うには少々勇気がいるほど先の丸い鉛筆を握りしめていて、まるでクレヨン、ひどい場合は「ハケ」です。小さな欄に答えを書くために、必要以上に気を遣わなければなりません。必然的に字は大きくなりますし、訂正でもしよものなら、用紙は悲惨な状況となります。

鉛筆は毎日自分で削って複数本持つてくるようにしましょう。

6月4日実施暗算検定合格者

【1級合格】

四宮悠汰 下西嶺輝 木寺愛

【準1級合格】

西村早貴 田伐志帆 平松歩
田中麻奈美 野村まゆ子

【2級合格】

木寺輝 池田菜乃子 松下真之介
岡留彩花 仙田さくら 木村理仁
高森美里 今井麻友香 辻本星来

【準2級合格】

金田久慶 宮崎颯 中越菜々子
山内優歩 守本光希 井手亮太
山根建太郎 青柳佳孝 辻未佑

【3級合格】

楓まい 岡田遥 村部啓太 岡田涉
今泉夏陽 小川優介 西島朝香

有本華帆 岡崎稜平 桑原彩衣
湊結子 安達菜々美

【4級合格】

若林聖和 田中友子 平野竜宇
岡田洸 熊田星麗 谷岡菜々子
吉見優里 鷺山星音 今井麻奈未
西村梨留 細川大輝 楠田知己
古川和佳 藤岡碧海

【5級合格】

川瀬雄登 吉永颯 石田優麻
前田謙吾 西本匠吾 古橋清夏
橋本潤司

【6級合格】

沼田怜旺(満点合格)

~1級合格者の横顔~

四宮悠汰くん…年中から通い始めた四宮くん。ここ1~2年の間に積極性がぐんと増し、自分で考えて練習に取り組めるように。今回は余裕の合格で、暗算段位の取得も目前。

下西嶺輝くん…短期間でそろばん1級に合格。そろばんの上達が早すぎて暗算の合格級が追いついていなかったが、今回ようやくそろった。練習量のムラをなくすことで大きな飛躍が目指せる。

木寺愛さん…中学生になってもコンスタントな練習量は変わらず。コツコツとマイペースに努力する姿勢は他の生徒の手本になっている。近頃は他の中学生と情報交換する場として教室を活用することも。

暗算段位の内容が変わります

平成23年6月実施段位認定試験から、暗算の問題内容が変わります。詳しくは、「日本珠算連盟」のHPで確認できます。

今まで、珠算1級から準段位や初段位に登るステップと、暗算のそれとでは大きな隔たりがあったことから、今回からの段位暗算問題では今までよりも小さな桁の問題が出題されるようになります。

ただ、新旧問題の間で使用字数の一致を図るため、一部桁数を増やしています。そのため、6段程度までは従来

よりも取りやすく、7段以降は難しくなります。

新旧問題で使用字数は一致したとしてもトータルで見た場合の難易度は一致しませんので、今後は合格基準点が見直される可能性もあります。

車での送迎に関して(お礼)

先月号で送迎ルールについて書きましたところ、ほんのわずかな方々を除いて見事にお守りいただいております。とてもスムーズな流れで助かっています。また、塾報をきっちり読んでいただいていることもわかり、あわせて御礼申し上げます。

ただそれでもなお1日に1台程度、ご協力いただけない方がいらっしゃいます。嫌でも目立ちます。乗り込む生徒も他の生徒からの視線に耐えなければなりません。信頼を失うか信頼を得るか、わずか5分程度早い迎えで決まってしまうのです。怖いことです。

事故発生

入れ替え時に自転車整理をしていたときのこと。見知らぬ車が教室前に停まり、運転手さんが仰いました。

「テラスハウス内に生徒を入らせないでほしい。今、生徒が乗る自転車と衝突した。転んだので『大丈夫か。けがはないか』と聞いたところ、『大丈夫です。すみません』と謝っていった。急な飛び出しは困る。町内会でお宅のそばん塾のことについて話し合うことも考えなければならぬ」とのこと。ドライバーはテラスハウスにお住まいの方です。

詳しく尋ねると、教室近くの交差点にあるクリーニング店の向かい側、青空駐車場横の細道から教室裏のテラスハウス内道路に通学途上の自転車が飛び出してきて車と接触。幸運にも生徒にけがや自転車の破損はなかったのですが、新車の車のナンバー付近には明らかな接触跡がありました。

自転車整理中にそれらしき生徒には気付かなかったことからたいした事故でなかったことはわかりましたが、念のためドライバーから聞き出した生徒

の特徴を元に見当を付けてある生徒に尋ねると、全面的に非を認めました。

過失割合云々などと言い出せば自動車の方が分が悪いかもしれませんが、不幸中の幸いでお互いに怪我がなかったことと飛び出したことを認めたため、生徒を連れてドライバーさんのお宅に謝罪に出向きました。

用向きをインターホン越しに伝えると、ドライバーさんは意外そうな表情で出てきてくださり改めて「怪我はないかな」と、生徒が飛び出したことには一言も触れません。生徒も素直に「大丈夫です。飛び出してしまいました。済みませんでした」とわびて一件落着。

めでたしめでたし、と言いたいところですが、これは、生徒達が多く走っていることと地図とを熟知なさっている近所の方がドライバーだったからこそこのことで、こんな紙一重が毎日各所で起こっているかと思うと恐ろしくて枕を高くして寝ていられません。かと言って枕を低くしたところで安心できるはずもなく、ここはやはり教室とご家庭とで根気強く何度も生徒達に注意喚起していくしかありません。

なお、万一の事態に備えて、当教室が所属しております協会の生徒災害共済には加入しておりますが、保険金で命や身体は修復できません。

公道のどこを走ってどこを走るなどか、通学路を決めたとして確実に安全が保てるものではありません。

車に当たって「痛い」と思えるのはまだマシです。一瞬で「さようなら」とならないように祈るだけです。

ところで、すんでのところでも事故、という事件もありました。詳しいいきさつは省きますが、教室前で遊んでいた生徒の一人が車道に後ろ向きで飛び出し、車が急ブレーキを掛けて止まるという事案です。本人は遊ぶことに夢中で車が目前に来ていたことを知らずに済んで“幸いにも”怖い思いをしなかったのですが、本当に危機一髪で助かったことを皮膚感覚で悟るせつ

かくのチャンスのみすみす逃したのは「不運」でした。

車を運転していると、道路の左端を走っていた自転車が、突然、何の躊躇もなく道路を斜めに横切る場面に出くわすことがあります。長年ハンドルを握っていると、それとなく事前にわかる場合もあって、こんな時はたいてい「唯我独尊・斜め横断オーラ」が出ているのです。ママチャリの前カゴに荷物をたくさん詰め込み、ただでさえ不安定なハンドルさばきを重量オーバーの荷物とおしりが足を引っ張って、腕が小刻みに左右に振れている……。誤解を恐れずに言わせていただくならば、たいていは、おばさんです。

私が言う「おばさん」は、すでに半世紀は生きていらっしゃることが最低条件ですが、自転車運転歴も半世紀近いでしょう。この間、無事故で過ごしてこられたというのは、まさに奇跡としか言いようがない。

草食動物や魚のように、もしかして視野が360度に近いのか、としげしげ拝顔しても両の目は「個性」という言葉で十分片付けられる程度のところにしつついていませんし、もちろんゴキちゃんのような触角もありません。年輪、ということなのでしょう。

悔しいことに「ぶつけられないオーラ」を生徒達が出すには年季が今ひとつ足りません。年季の不足分は想像力で補いましょう。

eduイベント終了

小学館edu編集部主催による「そろばん特別授業」が終了しました。5月22日の東京会場、6月12日の大阪会場とも定員一杯の参加者でした。

両会場とも地域の珠算の先生方にご協力いただき、手厚い体制で取り組みました。内容は、当教室で初日に行く体験授業そのものです。ただ、当教室では原則マンツーマンで行うのですが、イベントでは大人数のため非常にゆっくりとした速度で行い、導入の後には採点や指導を他の先生方に任せて、私はもっぱら保護者の皆様と雑談して

いました。

採点に関して子ども達に課したのは、「本を両手で差し出すこと」「採点しやすい向きにして出すこと」「採点の依頼に際して『マル付けをお願いします』など一言を添えること」の3つで、これも当教室でしていることです。単純なことですが、ただそうするだけで言葉遣いは正しくなり、背筋まで伸びてくるから不思議なものです。

言葉遣いは生徒だけが正しくなるものではありません。『マル付けをお願いします』『〇〇ページに進んでいます』と生徒が申告すると指導者側も自然と望ましい言葉遣いになります。相手を尊重しつつ立場に応じたそれぞれの姿勢が会場に良い空気を作り、好循環を生んでいくのです。「売り言葉に買い言葉」の逆です。

保護者の皆様は我が子が生まれて初めて敬語で話す様子や、急ぎ足で自席に戻って次の問題に取り組む様子をご覧になって、不思議な感覚にとらわれているようでした。

雑談の内容は「自力で進んでいくこと」「できていく喜びが次への動機付けになること」「間違いを未然に防ぎ危機を回避すること」などなど、そろばん学習で培われる計算力以外の分野についての話題が主なものでしたが、話している内容がその時まさに目前で子ども達によって繰り広げられていたわけです。

当日の様子はedu本誌でも紹介されることになっております。

授業見学大歓迎です

「子どもが急に教室に行きたがらなくなったのですが、何かあったのでしょうか」

「思い当たる節はありますか」

「どういったことでしょうか」

「質問に来ては私が教えないからだと思えます」

「???」

以上のようなやりとりのお電話がつい最近ありました。

「教えない」のは教える必要がない

から教えないのですが、生徒にとってはやはり非常に不親切に感じるようです。もちろん生徒には何の責任もありません。すべては意地悪な私の責任です。

質問に来たとき、どこでつまづいているか、本当にわかっていないのか、不安や疲れが思考の妨げになっていないか、などといった様々な可能性が私の頭の中でめまぐるしく回転し始めます。生徒の表情、今まで進んできた速さ、誤算傾向、壁を乗り越えるときに必要な気力が全能力の何%くらいを必要とするのか、学習活動で絶対に必要な「『あっ、そうか』体験」を経験してきているか、といった過去の個別の事情と質問内容とを吟味して、教えなければならぬのか、教えるべきなのか、教えるべきではないのか、教えてはいけないのか、という4つの程度を判定して生徒に対応します。こうして書き出してみると、ずいぶん字数を必要としますが、実際にはほとんど「直感」で次々に判断していきます。

さんざん迷ったあげく、ようやく意を決して質問にやってきた生徒には、一瞬見られただけで「自分でやってきなさい」と追い返されるわけですから、“人生最大の理不尽、ここに極まれり”となるわけでしょう。

でも、追い返されて渋々自力で解いてみて、それが正解になったときの達成感と“自分でやった感”は、教えられてできたときのうれしさとは全く違います。

質問に来たときに自力でできる可能性が少ないと判断した場合は必ず何らかの指導を行います。直接その問題で行うときもあれば別の例題を出す場合もあります。間違えたことを生徒に再現させてみてどこをどう間違えたのかを生徒に解説させる場合もあります。

先のお電話のあった日、お母様が渋る生徒を連れて教室にお越しになりましたのでお母様にも教室に入っていただき、見学していただくことにしました。

当教室の見学席は、学校の授業参観のように教室の後ろではありません。私の隣です。そこで様々な生徒達を見ていただきます。余裕ができたときには、今書いてきたようなことを私が解説します。

私の隣に座ることを医師から止められている方にはご遠慮いただきますが、そうでない方にはいつでも場所を空けておきますので、どうかお気軽にお越しください。そろばん学習を見る目に新しい観点が加わることをお約束します。

大繩のその後

震災直後から皆さんにご協力いただきました義援金で大繩100本を購入し、宮城県に送ったことはこの塾報で幾度か触れました。このたび、お礼状が「星の郷教室の皆さんへ」という宛先で届きましたので掲載いたします。

ご支援くださった皆様へ

御礼とご報告

東松島市立大曲小学校

校長 亀卦川孝雄

校舎前の藤棚には、淡い紫色の藤の花が所狭しと咲くようになりました。

このたびの東日本大震災では、被災した本校の子ども達のために、国内はもちろんのこと海外からもたくさんのお励ましのメッセージ、必要としていた身近な学用品や通学用品など多くの支援物資を頂戴いたしました。ご支援いただきました品を手取る子ども達の表情がとても印象的で、どの学級でも笑顔に満ちあふれておりました。本当に心温まるご支援ありがとうございました。

さて、大震災後2ヶ月が経ちました。本校では4月27日(木)始業式の前日になってようやく仮の電気(津波被害のない2・3階)と、水道(飲料不可)が臨時的に復旧し、学校再開にご協力しています。

しかし、講堂(体育館)も津波を被ったことと地震で落下物の心配があることで、普段は使用を控えています。また、校庭・校地内はヘドロやがれき、流れ着いた車両200台ほどの撤去は済んだものの、病原菌等の衛生面・安全面から使用できない状態です。

振り返ってみますと、3月11日(金)の地震発生時は、体感したことのない強烈な揺れのために校内の電気が遮断しました。そのために校内放送が使えず、職

員に廊下を走らせて各学級担任に「窓を開けるように！」と叫ばせました。その間、北校舎・西校舎・講堂（体育館）の見渡せる校庭の真ん中に出た教頭に避難指示をさせ、メガホン（拡声器）で校舎に向かって避難誘導を行いました。

どの学校でもそうであるように、本校でも第1次避難は校庭でしたが、通常の避難訓練での整列隊形を取らずに、校庭中央の校長・教頭を取り囲むように、学年・学級ごとに担任の近くに子ども達を集合させて、子ども達と教職員との距離を縮めました。これは、大地震での子どもの不安を少しでも和らげることと、放送機器が機能しない状況での情報伝達のための苦肉の策でした。

校庭では、心配して駆けつけた保護者に子どもを引き渡し始めましたが、時間が経つにしたがって、地域の緊急避難所である本校には地域の多くの方が避難してきており、第2次避難の態勢に移りました。学校に残された子ども達を地域の方々と共に講堂（体育館）に避難させましたが、その段階でも（電カダウンにより作動しなかったためか）「津波警報のサイレン」は全く聞こえていませんでした。

しかし、海岸から3kmほどに位置する本校ではあるのですが、急きょ、万が一の津波到着を考慮して、校舎3階に避難させることを決断しました。そして、パニックを回避するために、津波のことは地域の方々にはあえて伏せたうえで「これから校舎の3階に移動します。子ども達、お年寄り、他の大人の方という順で指示します」と話して、400名ほどの子ども達と学区の保育所幼児、多くのお年寄り、地域の方々皆を校舎3階に上げました。

そのとたんに、講堂脇の道路に津波の第1波が見えました。津波はどンドン校庭に流れ込んで、大人の身長（170cm）ほどまで水かさが増えました。でも、航空自衛隊松島基地のある防衛省規格の校舎ですので、流された車の衝突で昇降口のガラスが割れるまでは校舎1階が水没することを防いでくれました。

その夜は雪も降って寒い日でした。ライフラインがすべてストップし、暖房も毛布すらなく、ただただ椅子に座って教室で休むのみでした。避難した600名ほどもひたすら日の出を待っていたのではないのでしょうか。校内も地域も真っ暗でしょっちゅう余震で揺れる中、理科室薬品庫のガラスを割って取り出したアルコールランプに火を灯し、赤ちゃん用ミルクのお湯を沸かしました。また、夜中、水の中を泳いで逃げてきた方々に、教室のカートンを外してかけてあげ、体を温めるために教員がマッサージをしました。衣服も靴も濡れ、学校にある着替えは、子ども達の小さな体操着と上靴だけでした。それ

でも何着も提供したわけです。

“陸の孤島”になってしまった本校では、翌日、大きな模造紙に『水』『食料』と書いて、教室の外窓に貼り、上空を巡回するヘリコプターに知らせようと思いました。しかし、救援の手がさしのべられることはなかったのです。そして、水が引いた3日目だったでしょうか、ようやく救援物資の食パンと水と毛布が届きました。食パンは1日にたった1枚を5～6人で一口つまむ、水はコップに7cmだけ、毛布は2人で1枚…。こんな映画のような生活に出会ってしまったわけです。

しかし、日に日に救援物資は増え、2週間後には多くの薬品やカップ麺、紙おむつ等の様々な種類の日用品が入ってくるようになりました。また、全国各地からの“炊きだし”ボランティアもたくさん駆けつけてくれました。カレー・焼き肉・讃岐うどん…本当にありがたいものでした。教職員皆で、『日本は本当に良い国だなあ』と実感したものです。

避難所となった本校では、管理職が校地内での自衛隊の作業の許可・調整、マスコミ各社の対応も当たりました。とりわけ壊滅的に被災した大曲浜地区を学区にもつ本校では、毎日3～4社の報道機関が取材（トータルで100回超）に来て報道したため、かえって、全国からの支援が豊富になっていったことが特筆できます。東北祭天の嶋選手会長や田中将大投手が来校したことも記憶に新しいと思います。

そして、津波の被った講堂での卒業式も、入学式・始業式もまた、特別な意味合いの学校行事になりました。毎日駐屯した陸上自衛隊や地元消防団、そしてボランティアの環境整備によって実現できたのです。人に支えられ、当たり前と言えることが普通にできた復旧の瞬間です。

震災1ヶ月後の4月10日（日）をもって、学校は避難所を解除になりましたが、そこからの復旧が本当に大変でした。教職員皆で何から進めてよいものか悩みなながら、その日その日を精一杯働く日々でした。事務机もパソコンもなく地道な手作業、素朴な業務にあたることから始めたのです。21日の学校再開まで、全教職員が一体感をもってよく頑張ったというのが校長としての正直な感想です。

なお、市内14校の中には、被災状況により他校や役所施設を間借りして学校再開を迎えたところもありますが、本校では、津波を被った校舎1階すべてと講堂（体育館）を使用できないものの、自校での再開・児童との再会ができることになりました。これまでの多くの皆様のご支援により、愛着のある土地で、慣れ親しんだ学校施設で、再び子ども達の笑顔と明るい声に囲まれて仕事をする事ができる喜びに浸っております。

今回の大震災で、勤務先も教職員も被災して大変苦慮しましたが、それと引き替えにとっても大切な人生経験をしました。

水の大切さ、人の温かさ、国力のすごさ(自衛隊任務もその一つ)、マスコミ報道の威力、全国や海外からの支援物資の多さ、ボランティアへの関心とその方々の心の豊かさ…。そして、なんとと言っても、子ども達の屈強に姿には、逆にわたしたち教職員が勇気づけられております。

復旧へ向けての道のりは、想像以上に急激で一気に進んでおります。しかし、ある程度復旧した後に、本当に大変で乗り越えるべきハードルが待ち受けているような感じがします。今は、無理をしないで子ども達と一歩ずつ歩み始めることを大切にしていきたいと考えております。

これまでの温かいご支援に感謝いたします。本当にありがとうございました。そして、これからもどうぞよろしくお願いたします。

(以上は印刷物での文面でした。最後に手書きで次のメッセージが添えられていました)

「他の方からも大縄の支援があり、各学年への配当ができそうです。お心遣い大変ありがとうございました。」

塾報に掲載させていただく許可を得るために直接校長先生と電話で話しました。6月20日によく校庭が使えるようになり、早速生徒の皆さんが校庭で跳び始めたとか。文面からは全校生徒が無事のように思えたのですが、実際には複数名の生徒が現在も行方不明だそうです。

水1cm。想像を絶します。

出席時間20時間以上の生徒

(6月20日までの1ヶ月)

桑原彩衣47 桑原唯衣42 金本大夢38
盛井元仁38 金本愛夢38 奥田あさひ37
山口愛未37 奥田南海35 金本三夢34
楓まい33 住吉美咲30 塚本裕策30
西島朝香30 塚本旬29 福田陸人29
湊結子29 大内悠聖28 谷岡菜々子28
中島萌唯28 大内峻聖27 酒井結衣27
酒井克巳27 長尾侑美27 江良尚泰26
木寺輝26 西村早貴26 東阪太陽26
山内美空26 楓陸25 西村梨留25
濱野恵太25 山内星徳25 北村樹24
竹下柊希24 辻尾陸人24

蜂谷圭将24 山内優歩24 山根建太郎24
桑原麻衣23 梶原太智23 花岡棋平23
井手勇希22 有本華帆22 井手蒼人22
竹下椋香22 古川愛佳22 足立歩大21
木村征爾21 木村理仁21 越野貴也21
田伐志帆21 辻尾菜々21 文沢駿介21
井手亮太20 木村理彩20 小北智也20
北村彩20 久保田莉央20 熊田星麗20
佃花音20 西本朱里20 東阪怜奈20
村田直己20 若林聖和20

猛スピードばく進中(PERFECT)

(初歩教材PERFECTを1ヶ月で20ページ以上進んだ生徒)

石上綾音154 東阪太陽123 松井咲帆107
白川香乃94 東阪怜奈94 渡部愛弓80
松野未佳76 文沢駿介66 古川愛佳61
齋藤小春56 上殿早希53 辻尾陸人52
村上小夏52 田丸香月51 住吉海飛50
中村如月50 高森菜々美49 本坂明日香48
塚本旬47 村垣夏南45 井手蒼人44
今井翔太43 山口匠史42 兼松咲菜41
有田蒼空39 平井望彩35 才田千春34
佃花音34 山内美空34 久保田莉央33
小西美琴32 田丸彩月32 阪口隼都30
渡邊悠29 木寺匠27 森宥友27 平野巧23
古川和佳22 実生碧22 眞井夏希22
野口陸人21 森岡賢一21 熊谷圭祐20
佐藤菜南子20

猛スピードばく進中(瞬達)

(初歩教材「瞬達」を1ヶ月で5ページ以上進んだ生徒)

住吉美咲37 仲谷愛花22 飯田海地17
越野貴也17 竹下柊希14 若林日和14
中野楽12 川崎龍一11 若林聖和10
植田成海8 山内優歩8 中家千裕7
北村樹6 金田久慶6 藤岡碧海6 松下真之介6
岡留彩花5 井手亮太5 井戸浩樹5
岡田遙5 岡田渉5 奥田南海5
木村理仁5 岸本祐真5 谷川愛奈5
平野竜宇5 吉見優里5 吉田魁馬5

フラッシュ暗算合格者

(6月20日までの1ヶ月間)

五段 黒田幸花
三段 渡邊綾乃

二段	今村真菜
初段	今村真菜
1級	今村真菜 岡田遙 清川愛実
2級	岡田渉 中家千裕 札埜源貴 森岡賢一
3級	中家千裕 今泉優衣 辻本星来 平野竜宇 古川和佳 村田直己
4級	安達菜々美 辻未佑
5級	佃花音
6級	佃花音 鷲山星音 住吉美咲 中野楽 仲谷愛花 萩森英明 山本夕有花
7級	住吉美咲 仲谷愛花 古橋晴香
8級	住吉美咲 竹下柊希
9級	住吉美咲 伊賀敬弘 出口来実
10級	出口来実 伊藤優生 池崎佑磨 足立歩大 北森彩月 田中穂夏 西本直幸 前田小春

書道教室から～加藤真月

遅くなりましたが、成田山書道展覧会の結果が送られてきました。震災の影響で審査及び郵送に手間取っていたようです。先日、賞品や賞状をお渡ししました。当教室では金剛賞が一番良い賞でした。金剛賞には賞状とお守りが届きました。入選はボールペンが賞品でした。中国に派遣されるような特別大きな賞は頂けませんでした。これからも、色々なコンクールに参加していきたいと思えます。

硬筆・毛筆とも本の課題練習後、漢字練習や違う課題を練習したりしていますが、高学年で段位者の方は、中学・高校の書道で練習する「行書」にも取り組んでいこうと思います。

夏休みの自由課題で毛筆を出される方は教室時間内でも練習できますので、おっしやっして下さい。

7月号で硬筆昇段試験の結果が発表されました。合格者は下記の皆さんです。

- ・四段合格・・・上野舞華・市川未悠
- ・上野豪斗
- ・二段合格・・・中西祐輔・岸本健志
- ・東優里
- ・初段合格・・・東美玖・沼田創志郎
- ・園田有咲・山口愛未・園田沙耶香

毛筆の昇段試験結果は来月です。7月のお稽古日は暦通り火曜日・金曜日とも毎週あります。金曜日は5週になりますが、その分、10月が3回です。8月は16日(火)がお休みです。2011年度(7月から12月まで)の教室予定日のプリントをお持ち帰り頂くので、お間違えのないようお願い致します。

7月号の段位は下記の通りです。(入会したての方はまだ出品していないので名前が載っていません)

・小1	毛筆	硬筆
小西 美琴	8級	6級
市川 大誠	6級	5級
中井 彩由里		新7級
・小2		
角南 佳祐	4級	2級
・小3		
今井 麻奈未	2段	2段
加藤 大騎	初段	2段
沼田 賢志郎	9級	1級
東 美玖	初段A	初段
土橋 乙心	3級	1級C
小西 真雪	6級	2級
松下 菜々	4級	1級
九十九 光希	3級	1級A
中村 優吹	5級	4級
・小4		
蜂谷 圭将	4段A	5段
辻尾 菜々	2段A	4段
金本 大夢	3段A	3段
上野 舞華	3段	4段
沼田 創史郎	3級	初段
中西 佑輔	1級	二段
松下 真之介	3級	1級
尾碕 初菜	1級	1級
西本 朱里	3級	3級
・小5		
市川 未悠	3段B	4段
金本 三夢	3段C	2段
吉富 千夏	2段B	4段
大槻 遥香	初段C	1級C
岸本 健志	1級B	2段
山下 彩乃	2段B	初段
東 優里	初段B	2段
園田 有咲	1級B	初段
山口 愛未	1級A	初段
桑原 唯衣	3級	3級
土橋 一永	新7級	7級
・小6		
上野 豪斗	初段A	4段
中井 美咲	2段C	5段
園田 沙耶香	1級A	初段
寺西 匠人	5級	1級